

第1章 総則

第1条 本大学は、キリスト教の精神を教育の基本とし、知識を探求し、技芸を修得し、敬虔にして自由なる学風を樹立し、もって民主的教養と国際的理解とを有するキリスト教的女性を育成することを目的とする。

第2条 本大学は、「神戸女学院大学」と称する。

第3条 本大学は、兵庫県西宮市岡田山4番1号に置く。

第4条 本大学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別にこれを定める。

第5条 本大学に文学部、音楽学部及び人間科学部を置く。

2 文学部には英文学科及び総合文化学科を、音楽学部には音楽学科(器楽専攻、声楽専攻、ミュージック・クリエイション専攻及び舞踊専攻)を、人間科学部には心理・行動科学科及び環境・バイオサイエンス学科を置く。

3 第1条に掲げた目的に加えて、各学科における人材養成上の目的と教育目標は次のとおりとする。

(1) 英文学科は、英米文学文化、言語コミュニケーション、グローバル・スタディーズの三つの専門コースの教育研究を通して、高度な英語運用能力、深い異文化理解、豊かな思考力と感性を備えた、国際的に活躍する人材の育成を目指す。

(2) 総合文化学科は、世界の文化や現代社会に関する人文社会諸科学の幅広い分野から学生が自由に科目を選び、複眼的視点で文化と社会と人間を探求する学科であり、広い視野をもち自主的に考え行動できる人材の育成を目指す。

(3) 音楽学科は、個々の学生の個性・感性を尊重しつつ、高度な専門技術の修得と豊かな芸術的感性の涵養により、音楽を広い視野で捉え、総合的に研究し、俯瞰できる人材の育成を目指す。

(4) 心理・行動科学科は、臨床心理学と行動科学の分野における知識・技能の学びを通して、個人として自立し、また、多様な人々と共生するための知性と感性を備えた人材の育成を目指す。

(5) 環境・バイオサイエンス学科は、環境科学、生命科学、環境社会学の複数分野から、実践的で実証的な教育・研究を行うことにより、自然と人間との持続可能な関係を築く

ことを目標に、考え、行動する人材の育成を目指す。

第6条 本大学各学部の修業年限は、4年とする。

第7条 学生の定員は、次のとおりとする。

	入学定員	編入学定員（3年次）	収容定員
文学部			
英文学科	150名	—	600名
総合文化学科	200名	—	800名
計	350名	—	1400名
音楽学部			
音楽学科			
器楽専攻	25名	いずれかの専攻に1名	100名
声楽専攻	7名		28名
ミュージック・クリエイション専攻	2名		8名
舞踊専攻	6名		24名
			2名
計	40名	1名	162名
人間科学部			
心理・行動科学科	96名	—	384名
環境・バイオサイエンス学科	80名	—	320名
計	176名	—	704名

第2章 学年、学期及び休業日

第8条 本大学の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

ただし、前期終了日及び後期開始日は、教授会の議を経て年度毎に学長が別に定める。

第9条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 春期休業 3月20日から3月31日まで
- (2) 夏期休業 7月30日から9月25日まで
- (3) 冬期休業 12月24日から翌年1月6日まで

- (4) 土曜日及び日曜日
- (5) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (6) 学院創立記念日 10月12日

2 前項の休業日は、教授会の議を経てこれを変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第3章 教職員組織

第10条 本大学に学長、副学長、教務部長、学生部長、入試部長、学部長、教授、准教授、専任講師、助教その他の職員を置く。

- 2 学長は、本大学を代表し、院長統理のもとに、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。
- 3 副学長は、教務部長がこの任にあたり、学長を補佐し、命を受けて本学の校務をつかさどる。また、学長に事故のある時は、その職務を代行する。
- 4 教務部長は、教務の企画運営にあたる。
- 5 学生部長は、学生指導の企画運営にあたる。
- 6 入試部長は、入学試験および大学広報の企画運営にあたる。
- 7 学部長は、所属学部を統轄する。
- 8 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、専門学術の研究及び教育に従事する。
- 9 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、専門学術の研究及び教育に従事する。
- 10 専任講師は、専攻分野について、教授又は准教授に準ずる教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、専門学術の研究及び教育に従事する。
- 11 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、専門学術の研究及び教育に従事する。
- 12 名誉教授に関する規程は、別に定める。

第11条 本大学に教授会を置く。

- 2 教授会は、教授をもって構成し、学長が次の事項について決定を行うにあたり、審議し意見を述べる。ただし、学長は、審議事項の性質に鑑み、准教授、専任講師及び助教を教

授会に構成員として参加させることができる。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) その他、学長が別途定める教育研究に関する重要な諮問事項

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長等、その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、学長等の求めに応じ意見を述べることができる。

4 教授会に関する規程は、別にこれを定める。

第11条の2 本大学の各学部に学部教授会を置く。

2 学部教授会は、各学部に所属する教授、准教授、専任講師及び助教をもって構成し、次の事項を審議する。

- (1) 学部の教育及び研究に関する事項
- (2) 学部の教育課程に関する事項
- (3) 学部の諸規定の制定・改廃に関する事項
- (4) その他学部に関する重要事項

3 学部教授会に関する規程は、別にこれを定める。

第11条の3 本大学の体育研究室及び共通英語教育研究センターに教授会を置く。

2 前項教授会については、別の規程に定める。

第4章 授業科目、履修方法、卒業の認定及び学位

第12条 本大学の各学部に、別表に掲げる授業科目を置く。

第13条 前条の授業科目を履修し、所定の学業成績を取得した者には単位を与え、課程を修了したものと認定する。ただし、転学部、転学科、編入学、学士入学及び再入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱いについては、教授会の議を経てこれを決定する。

2 各授業科目に対する単位数は、次の基準によって計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学科における個人指導による実技の授業についてはこの限りではない。
- (3) 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修

等を考慮して単位を定める。

3 認定に関する細則は、別に定める。

第14条 本大学の学部で4年以上在学し、所定の課程を履修して卒業所要単位数を修得し、教授会がその卒業を認めた者には、学士の学位を授与する。

2 本大学に3年以上在学した者が、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと大学が認める場合には、前項にかかわらず、その卒業を認めることができる。

3 学位の授与については、別に定める規程による。

4 卒業所要単位数は次のとおりとする。

- (1) 文学部英文学科においては、コアのうち外国語（英語）4単位、外国語（その他）4単位、体育2単位、キリスト教学6単位、IT2単位及びクローバーゼミ4単位 計22単位以上、オープン10単位以上、メジャー76単位以上、並びに自由選択としてコア、オープン又はメジャーの中から20単位以上、総計128単位以上を修得することを要する。
- (2) 文学部総合文化学科においては、コアのうち外国語（英語）12単位、外国語（その他）8単位、体育2単位、キリスト教学6単位、IT2単位及びクローバーゼミ4単位 計34単位以上、オープン8単位以上、メジャー68単位以上、並びに自由選択としてコア、オープン又はメジャーの中から18単位以上、総計128単位以上を修得することを要する。
- (3) 音楽学部音楽学科においては、コアのうち外国語（英語）10単位、外国語（その他）4単位、体育2単位及びキリスト教学6単位、IT2単位及びクローバーゼミ4単位 計28単位以上、オープン10単位以上、メジャー80単位以上、並びに自由選択としてコア、オープン又はメジャーの中から10単位以上、総計128単位以上を修得することを要する。
- (4) 人間科学部心理・行動科学科においては、コアのうち外国語（英語）12単位、外国語（その他）4単位、体育2単位及びキリスト教学6単位、IT2単位及びクローバーゼミ4単位、計30単位以上、オープン10単位以上、メジャー80単位以上、並びに自由選択としてコア、オープン又はメジャーの中から8単位以上、総計128単位以上を修得することを要する。
- (5) 人間科学部環境・バイオサイエンス学科においては、コアのうち外国語（英語）12単位、外国語（その他）4単位、体育2単位及びキリスト教学6単位、IT2単位及びクローバーゼミ4単位、計30単位以上、オープン10単位以上、メジャー80単位以上、並びに自由選択としてコア、オープン又はメジャーの中から8単位以上、総計128単位以上を修得することを要する。

5 他の大学又は短期大学において修得した単位は、編入学及び学士入学の場合を除き、60単位を限度として、適当と認められる単位を本大学において修得したものとみなす。

第15条 本大学において、教育職員免許状を得ようとする者は、第12条に掲げる授業科目のほか、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び同法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める必要単位数を修得しなければならない。

2 教職に関する専門科目は、別表第2のとおりとする。

第16条 本大学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類
文学部	英文学科	中学校一種 高等学校一種（英語）
	総合文化学科	中学校一種（社会） 高等学校一種（地理歴史） 高等学校一種（公民） 中学校一種 高等学校一種（国語）
音楽学部	音楽学科 （舞踊専攻を除く）	中学校一種 高等学校一種（音楽）
人間科学部	環境・バイオサイエンス学科	中学校一種 高等学校一種（理科）

第16条の2 日本語教員の資格を取得しようとする者は、本大学の日本語教員養成課程を履修することができる。

2 日本語教員養成課程の授業科目は、別表第3のとおりとする。

第16条の3 精神保健福祉士の受験資格を取得しようとする者は、本大学の精神保健福祉士養成課程を履修することができる。

2 精神保健福祉士養成課程の授業科目は、別表第4のとおりとする。

第5章 入学、退学、休学、復学、留学、転学部、転学科、転専攻、編入学、学士入学及び再入学

第17条 入学者の資格は、次の各号の一に該当する女子とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者および高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) その他、相当の年齢に達し、本大学が行う個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本大学が認めた者

2 入学の時期は、学期の初めとする。

3 入学に関する手続は、別に定める細則による。

第18条 休学、復学、又は退学を希望する者は、その理由を具し、保証人連署で願書を学長宛に提出し、その許可を得なければならない。

2 学生は、休学期間を含め、8年を超えて在学することはできない。ただし、編入学、学士入学及び再入学した者は、その者の修業すべき年限の2倍の年数を超えて在学することはできない。

3 休学期間は、第6条に規定する修業年限に算入しない。

4 休学期間は引き続き2年、通算3年を超えてはならない。

第18条の2 本大学学生であって、本大学と学生交換に関する協定のある外国の大学又は事前に学長が適当と認めた学位授与権を有する外国の大学若しくはこれに相当する教育研究機関等の授業科目の履修を希望する者がある場合は、審査の上、本人の教育上有益であると認められたときに限り、これを許可することができる。

2 前項の制度を留学という。

3 本大学が企画する、外国の教育研究機関への海外研修に参加する者については、第1項及び第2項で規定する留学に準ずる扱いをすることができる。

4 前項の制度を海外研修といい、内規は別に定める。

第18条の3 留学又は前条で規定する海外研修を希望する者は、願書を学長に提出し、その許可を得なければならない。

2 留学又は前条で規定する海外研修の許可を受けた者については、その許可を受けた期間を、第6条に規定する修業年限に算入することがある。ただし、修業年限に算入し得る期間は、1箇年を限度とする。

第18条の4 第18条の2の規定により学生が留学又は海外研修中に修得した単位は、60単位を限度として、適当と認められる単位を本大学において修得したものとみなす。

第19条 本大学学生で特別の事情があつて、転学部、転学科又は転専攻を希望する者があるときは、選考の上、許可することがある。なお、転入学年については、当該学科教授会において決定する。

第20条 大学2学年修了以上の者、短期大学卒業生、高等専門学校卒業生、外国において学校教育における14年の課程修了以上の者又は学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第92条の3の規定に該当する者で大学2学年修了以上に相当するものに、相当年次への編入学を許可することがある。

2 英文学科については、前項のほか、出願時において大学1学年を修了している者、外国において学校教育における13年の課程を修了した者又は学校教育法施行規則第92条の3の規定に該当する者で大学1学年修了に相当するものの出願を認め、2年次への編入学を許可することがある。

3 4年制大学を卒業した者に、3年次への学士入学を許可することがある。

第20条の2 第18条の規定によって退学した者が再入学を願い出たときは、審査の上、これを許可することがある。

2 再入学の取り扱いについては、別に定める。

第6章 外国人留学生、科目等履修生、聴講生、高大連携聴講生及び特別聴講生

第21条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、外国人留学生として選考の上、入学を許可することがある。

2 外国人留学生の取扱いについては、別に定める。

第22条 特別に定めのない限り、この学則を外国人留学生に対しても適用する。

第22条の2 本大学の授業科目中、一部の科目について、単位を修得するための履修を希望する者があるときは、当該学部学科生の学修に妨げのない限り、審査の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生が、その履修した授業科目の試験を受け、合格した授業科目については、教授会の議を経て単位を与えることができる。

3 科目等履修生の取扱いについては、別に定める。

第22条の3 特別に定めのない限り、科目等履修生に対しては学生に関する規定を準用する。ただし、第14条の規定は、準用しない。

第23条 本大学の授業科目中、一部の科目の聴講を希望する者があるときは、当該学部学科生の学修に妨げのない限り、審査の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生の取扱いについては、別に定める。

第23条の2 本大学と高大連携に関する協定のある高等学校の生徒で、当該高等学校の推薦のある者が特定の授業科目について聴講を希望するときは、教授会の承認を経て、高大連携聴講生として聴講を許可することがある。

第23条の3 他の大学との協定に基づき、本大学の授業科目を履修させる場合には、選考の上、特別聴講学生として許可することができる。

第24条 特別に定めのない限り、聴講生に対しては学生に関する規定を準用する。ただし、第13条及び第14条の規定は、準用しない。

第7章 学費

第25条 学費は、別に定める規程による。

第8章 図書館及び研究室

第26条 図書館は、本大学教職員、学生及び関係者に、学術の研究、調査又は学修の便を供することを主旨とする。

2 図書館に館長及びその他の職員を置く。

3 館長は、図書館に関する一切を掌る。

4 図書館規則は、別に定める。

第27条 研究室は、教授、准教授、専任講師、助教その他の教員及び学生の学術研究に便宜を与えるためにこれを設ける。

第9章 研究所

第28条 研究所は、諸学の研究を促進し、その成果を発表することを目的とする。

2 研究所は、機関誌の発行、講演会及び研究会の開催その他研究所の目的を達成するために必要な事業を行う。

3 研究所に関する規程は、別に定める。

第10章 学生寮

第29条 学生寮は、本大学教育の一機関として、第1条に規定する目的を達成するためにこれを設ける。

2 学生寮に、舎監及びその他の職員を置く。

- 3 舎監は、学生部長の統括のもとに学生寮の運営に当る。
- 4 会計に関する事務は、経理部がこれを掌る。
- 5 衛生に関することは、学校医及び衛生管理者の指導を受け、舎監がこれに当る。
- 6 神戸女学院大学学生寮規程及び神戸女学院大学学生寮規程施行細則は、別に定める。

第11章 厚生保健施設

第30条 本大学に学校医及び衛生管理者を置く。

- 2 学校医及び衛生管理者は、本大学教職員及び学生の厚生保健に関する事項を掌る。

第12章 賞罰及び除籍

第31条 人物及び学業が特に優秀な学生は、これを表彰する。

第32条 学則、規則等に違反し、又は本大学の教育方針に反する行為があった学生は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の方法は、譴責、謹慎、停学及び退学の4種別とする。
- 3 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第33条 次の各号の一に該当する学生に対しては、除籍することがある。

- (1) 第18条に規定する在学年限を超える者
- (2) 第18条に規定する休学の期間を超えて、なお就学できない者
- (3) 所定の期間内に授業料等を納めず、3か月を超えて、なお納めない者
- (4) 所定期間内に休学、復学、退学の手続きをとらず、3か月を超えて、なお休学又は退学の手続きをしない者
- (5) 長期にわたり所在不明の者

第13章 自己点検・評価

第34条 本大学は、教育研究水準の向上を図り、立学の目的を達成するため、自ら教育研究活動等の状況について点検及び評価を行う。

- 2 前項の点検及び評価を行うための項目及び実施体制については別に定める。

附 則

この学則は、1948年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1949年4月1日から施行する。(1949年4月1日改正)

附 則

この学則は、1952年4月1日から施行する。(1952年4月1日改正)

附 則

この学則は、1954年4月1日から施行する。（1954年4月1日改正）

附 則

この学則は、1957年4月1日から施行する。（1957年4月1日改正）

附 則

この学則は、1961年4月1日から施行する。（1961年4月1日改正）

附 則

この学則は、1964年4月1日から施行する。（1964年4月1日改正）

附 則

1 この学則は、1967年4月1日から施行する。（1967年4月1日改正）

2 旧学則により入学した学生については、旧学則を適用する。

附 則

この学則は、1968年4月1日から施行する。（1968年4月1日改正）

附 則

この学則は、1970年4月1日から施行する。（1970年4月1日改正）

附 則

1 この学則は、1976年4月1日から施行する。ただし、1975年度以前の入学者については、旧学則を適用する。（1976年4月1日改正）

2 1975年度以前の入学者の卒業を待って社会学科を廃止する。

3 1976年度以降においては、第7条の規定にかかわらず文学部社会学科及び総合文化学科の学生の定員は、次のとおりとする。

	1976年度	1977年度	1978年度	1979年度
社会学科	240名	160名	80名	0
総合文化学科	120名	240名	360名	480名

附 則

1 この学則は、1977年4月1日から施行する。ただし、1975年度以前の入学者については、旧学則を適用する。（1977年4月1日改正）

2 第21条及び第22条については、1978年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、1978年4月1日から施行する。（1978年4月1日改正）

附 則

この学則は、1980年4月1日から施行する。（1980年4月1日改正）

附 則

この学則は、1981年4月1日から施行する。(1981年4月1日改正)

附 則

この学則は、1982年4月1日から施行する。(1982年4月1日改正)

附 則

この学則は、1983年4月1日から施行する。(1983年4月1日改正)

附 則

この学則は、1984年4月1日から施行する。(1984年4月1日改正)

附 則

この学則は、1985年4月1日から施行する。(1985年4月1日改正)

附 則

1 この学則は、1986年4月1日から施行する。(1986年4月1日改正)

2 1986年度以降1988年度までは、第7条の規定にかかわらず、学生の総定員は、次のとおりとする。

	1986年度	1987年度	1988年度
文学部			
英文学科	500名	520名	540名
総合文化学科	540名	600名	660名
計	1,040名	1,120名	1,200名
音楽学部			
音楽学科			
器楽専攻	110名	120名	130名
声楽専攻	34名	36名	38名
作曲専攻	8名	8名	8名
計	152名	164名	176名
家政学部			
食物学科	175名	190名	205名
児童学科	175名	190名	205名
計	350名	380名	410名

附 則

この学則は、1987年4月1日から施行する。ただし、第12条、別表第1の6のロについ

ては、1985年度以前の入学者には、旧学則を適用する。（1987年4月1日改正）

附 則

この学則は、1988年4月1日から施行する。（1988年4月1日改正）

附 則

この学則は、1989年4月1日から施行する。（1989年4月1日改正）

附 則

この学則は、1990年4月1日から施行する。（1990年4月1日改正）

附 則

この学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第12条、別表第1の4のロ、第15条及び第16条については、1990年度の入学者から適用する。（1991年4月1日改正）

附 則

この学則は、1991年7月1日から施行する。（1991年7月1日改正）

附 則

この学則は、1991年10月1日から施行する。（1991年10月1日改正）

附 則

この学則は、1992年4月1日から施行する。（1992年4月1日改正）

附 則

この学則は、1992年6月24日から施行する。（1992年6月24日改正）

附 則

この学則は、1993年1月27日から施行する。（1993年1月27日改正）

附 則

- 1 この学則は、1993年4月1日から施行する。ただし、1992年度以前の入学者については、旧学則を適用する。（1993年4月1日改正）
- 2 1992年度以前の入学者の卒業を待って家政学部を廃止する。
- 3 1993年度以降においては、第7条の規定にかかわらず家政学部食物学科及び児童学科並びに人間科学部人間科学科（人間行動科学専攻・人間環境科学専攻）の学生の定員は、次のとおりとする。

	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度
家政学部				
食物学科	165名	110名	55名	0
児童学科	165名	110名	55名	0

人間科学部				
人間科学科				
人間行動科学専攻	80名	160名	240名	320名
人間環境科学専攻	70名	140名	210名	280名

附 則

この学則は、1994年4月1日から施行する。(1994年4月1日改正)

附 則

この学則は、1994年4月27日から施行する。(1994年4月27日改正)

附 則

この学則は、1995年4月1日から施行する。(1995年4月1日改正)

附 則

この学則は、1995年7月26日から施行する。(1995年7月26日改正)

附 則

この学則は、1996年4月1日から施行する。(1996年4月1日改正)

附 則

この学則は、1997年4月1日から施行する。(1996年6月26日改正)

附 則

この学則は、1997年4月1日から施行する。(1997年2月26日改正)

附 則

この学則は、1997年4月1日から施行する。(1997年3月26日改正)

附 則

この学則は、1998年4月1日から施行する。(1998年3月25日改正)

附 則

この学則は、1999年4月1日から施行する。(1999年3月24日改正)

附 則

この学則は、2000年4月1日から施行する。(1999年7月21日改正)

附 則

この学則は、1999年12月15日から施行し、1999年4月1日から適用する。(1999年12月15日改正)

附 則

この学則は、2000年4月1日から施行する。(2000年2月23日改正)

附 則

この学則は、2000年4月1日から施行する。(2000年3月22日改正)

附 則

この学則は、2001年4月1日から施行する。(2001年2月28日改正)

附 則

この学則は、2002年4月1日から施行する。(2002年2月27日改正)

附 則

この学則は、2002年4月24日から施行し、2002年4月1日から適用する。(2002年4月24日改正)

附 則

この学則は、2003年4月1日から施行する。(2003年2月26日改正)

附 則

この学則は、2004年4月1日から施行する。(2004年2月25日改正)

附 則

この学則は、2004年4月1日から施行する。(2004年3月24日改正)

附 則

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、2004年度以前の入学者については、旧学則を適用する。(2004年5月26日改正)
- 2 2004年度以前の入学者の卒業を持って人間科学部人間科学科（人間行動科学専攻・人間環境科学専攻）を廃止する。
- 3 2005年度以降においては、第7条の規定にかかわらず人間科学部人間科学科（人間行動科学専攻・人間環境科学専攻）並びに人間科学部心理・行動科学科及び環境・バイオサイエンス学科の学生の定員は、次のとおりとする。

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
人間科学部				
人間科学科				
人間行動科学専攻	240名	160名	80名	0名
人間環境科学専攻	210名	140名	70名	0名
人間科学部				
心理・行動科学科	80名	160名	240名	320名
環境・バイオサイエンス	70名	140名	210名	280名

学科				
----	--	--	--	--

附 則

この学則は、2005年4月1日から施行する。(2004年7月21日改正)

附 則

この学則は、2005年4月1日から施行する。(2005年2月23日改正)

附 則

この学則は、2005年4月1日から施行する。(2005年3月23日改正)

附 則

- この学則は2006年4月1日から施行する。ただし、2005年度以前の入学者については、旧学則を適用する。(2005年2月23日改正)
- 2006年度以降においては、第7条の規定にかかわらず音楽学部音楽学科(器楽専攻、声楽専攻、作曲専攻、及び舞踊専攻)の学生の定員は、次のとおりとする。

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	
音楽学部音楽学科	器楽専攻	105名	70名	35名	0名	2005年度以前 の入学生
	声楽専攻	30名	20名	10名	0名	
	作曲専攻	6名	4名	2名	0名	
	小計	141名	94名	47名	0名	
音楽学部音楽学科	器楽専攻	30名	60名	90名	120名	2006年度以降 の入学生
	声楽専攻	8名	16名	24名	32名	
	作曲専攻	2名	4名	6名	8名	
	舞踊専攻	7名	14名	21名	28名	
	小計	47名	94名	141名	188名	
	合計	188名	188名	188名	188名	

附 則

この学則は、2006年4月1日から施行する。(2006年3月22日改正)

附 則

この学則は、2006年4月1日から施行する。(2006年3月22日改正)

附 則

この学則は、2006年4月1日から施行する。(2006年3月22日改正)

附 則

- この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、2006年度以前の入学者について

は、旧学則を適用する。(2006年3月22日改正)

- 2 2006年度以前の入学者の卒業を待って音楽学部音楽学科作曲専攻を廃止する。
- 3 2007年度以降においては、第7条の規定にかかわらず音楽学部音楽学科(器楽専攻、声楽専攻、ミュージック・クリエイション専攻及び舞踊専攻)の学生の定員は、次のとおりとする。

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	備考
音楽学部音楽学科	器楽専攻	90名	60名	30名	0名	2006年度 以前の入 学生
	声楽専攻	24名	16名	8名	0名	
	作曲専攻	6名	4名	2名	0名	
	舞踊専攻	21名	14名	7名	0名	
	小計	141名	94名	47名	0名	
音楽学部音楽学科	器楽専攻	30名	60名	90名	120名	2007年度 以降の入 学生
	声楽専攻	8名	16名	24名	32名	
	ミュージック・クリエイション専攻	2名	4名	6名	8名	
	舞踊専攻	7名	14名	21名	28名	
	小計	47名	94名	141名	188名	
合計		188名	188名	188名	188名	

附 則

この学則は、2007年4月1日から施行する。(2006年11月22日改正)

附 則

この学則は、2007年4月1日から施行する。(2007年2月28日改正)

附 則

この学則は、2008年4月1日から施行する。(2008年2月27日改正)

附 則

この学則は、2008年4月1日から施行する。(2008年2月27日改正)

附 則

この学則は、2008年5月28日から施行し、2008年4月1日から適用する。(2008年5月28日改正)

附 則

1 この学則は、2009年4月1日から施行する。ただし、2008年度以前の入学者については、旧学則を適用する。（2008年10月22日改正）

2 2009年度以降においては、第7条の規定にかかわらず人間科学部心理・行動科学科、環境・バイオサイエンス学科の学生の定員は、次のとおりとする。

	2009年	2010年	2011年	2012年	
人間科学部					2008年度以前の 入学生
心理・行動科学科	240名	160名	80名	0名	
環境・バイオサイエンス 学科	210名	140名	70名	0名	
小計	450名	300名	150名	0名	
人間科学部					2009年度以降の 入学生
心理・行動科学科	80名	160名	240名	320名	
環境・バイオサイエンス 学科	80名	160名	240名	320名	
小計	160名	320名	480名	640名	
合計	610名	620名	630名	640名	

附 則

この学則は、2009年4月1日から施行する。（2009年2月25日改正）

附 則

この学則は、2009年4月1日から施行する。（2009年3月25日改正）

附 則

この学則は、2010年4月1日から施行する。（2009年6月24日改正）

附 則

この学則は、2010年4月1日から施行する。（2010年2月24日改正）

附 則

1 この学則は、2011年4月1日から施行する。ただし、2010年度以前の入学者については、旧学則を適用する。（2010年3月24日理事会改正、2010年8月30日文部科学省認可）

2 2011年度以降2014年度までの人間科学部学生の収容定員は、第7条の規定及び従前の附則にかかわらず次のとおりとする。

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
人間科学部				

心理・行動科学科	330名	340名	350名	360名
環境・バイオサイエンス学科	310名	320名	320名	320名
計	640名	660名	670名	680名

附 則

この学則は、2011年4月1日から施行する。(2011年2月23日改正)

附 則

- この学則は、2012年4月1日から施行する。ただし、2011年度以前の入学者については、旧学則を適用する。(2011年1月26日改正)
- 2012年度以降2015年度までの音楽学部音楽学科(器楽専攻、声楽専攻、ミュージック・クリエイション専攻及び舞踊専攻)学生の収容定員は第7条の規定にかかわらず次のとおりとする。

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
音楽 学部	器楽専攻	119名	118名	117名	116名
	声楽専攻	32名	32名	32名	32名
音楽 学科	ミュージック・クリエイション専攻	8名	8名	8名	8名
	舞踊専攻	28名	28名	28名	28名
	編入学	1名	2名	2名	2名
	合計	188名	188名	187名	186名

附 則

- この学則は、2012年4月1日から施行する。ただし、2011年度以前の入学者については、旧学則を適用する。(2011年4月27日理事会改正、2011年8月29日文科省認可)
- 2012年度以降2015年度までの文学部学生の収容定員は、第7条の規定にかかわらず次のとおりとする。

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
文学部				
英文学科	560名	560名	560名	560名
総合文化学科	740名	760名	780名	800名
計	1300名	1320名	1340名	1360名

附 則

この学則は、2012年4月1日から施行する。(2011年10月26日改正)

附 則

この学則は、2012年4月1日から施行する。(2011年12月21日改正)

附 則

この学則は、2012年4月1日から施行する。(2012年3月28日改正)

附 則

この学則は、2013年4月1日から施行する。(2012年7月25日改正)

附 則

この学則は、2013年4月1日から施行する。(2013年3月27日改正)

附 則

この学則は、2014年4月1日から施行する。(2014年2月26日改正)

附 則

この学則は、2014年4月1日から施行する。(2014年3月26日改正)

附 則

この学則は、2015年4月1日から施行する。(2014年5月28日改正)

附 則

この学則は、2015年4月1日から施行する。(2015年2月25日改正)

附 則

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。ただし、2015年度以前の入学者については、旧学則を適用する。(2016年2月24日理事会改正、2015年6月18日文科省認可)
- 2 2016年度以降2019年度までの文学部学生の収容定員は、第7条の規定にかかわらず次のとおりとする。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
文学部				
英文学科	570名	580名	590名	600名
総合文化学科	800名	800名	800名	800名
計	1370名	1380名	1390名	1400名

附 則

この学則は、2016年4月1日から施行する。(2016年2月24日改正)

附 則

この学則は、2017年4月1日から施行する。(2017年2月22日改正)

附 則

この学則は、2018年4月1日から施行する。(2017年12月20日改正)

附 則

この学則は、2018年4月1日から施行する。(2018年2月28日改正)

附 則

この学則は、2019年4月1日から施行する。(2018年4月25日改正)

附 則

この学則は、2019年4月1日から施行する。(2019年2月27日改正)

附 則

この学則は、2020年1月22日から施行する。(2020年1月22日改正)

附 則

この学則は、2020年4月1日から施行する。(2020年2月26日改正)

附 則

この学則は、2021年4月1日から施行する。(2020年10月28日改正)

附 則

この学則は、2021年4月1日から施行する。(2021年2月24日改正)

附 則

この学則は、2022年4月1日から施行する。(2021年6月23日改正)

附 則

1 この学則は、2022年4月1日から施行する。ただし、2021年度以前の入学者については、旧学則を適用する。(2022年2月24日理事会改正、2021年9月28日文部科学省届出)

2 2022年度以降2025年度までの音楽学部、人間科学部学生の収容定員は、第7条の規定にかかわらず次のとおりとする。

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
音楽学部				
音楽学科	180名	174名	168名	162名
計	180名	174名	168名	162名
人間科学部				
心理・行動科学科	366名	372名	378名	384名
環境・バイオサイエンス学 科	320名	320名	320名	320名

計	686名	692名	698名	704名
---	------	------	------	------

附 則

この学則は、2022年4月1日から施行する。(2022年2月24日改正)

別表第1

1. コア

単位数

外国語（英語）

英語コミュニケーション a	1
英語コミュニケーション b	1
英語コミュニケーション（Ⅱ） a	1
英語コミュニケーション（Ⅱ） b	1
国際コミュニケーションのための英語（Ⅰ）	1
英語リーディング&ライティングA	1
英語リーディング&ライティングB	1
実践英語（Ⅰ）	1
イングリッシュ・オナーズ（Ⅰ） a	4
イングリッシュ・オナーズ（Ⅰ） b	4
プレ・イングリッシュ・オナーズa	1
プレ・イングリッシュ・オナーズb	1
英語ワークショップ a	1
英語ワークショップ b	1
国際コミュニケーションのための英語（Ⅱ）	1
実践英語（Ⅱ）	1
イングリッシュ・オナーズ（Ⅱ）	4
TOEIC準備コース a	1
TOEIC準備コース b	1
ビジネス・イングリッシュ	1
アカデミック・イングリッシュ（TOEFL/IELTS） a	1
アカデミック・イングリッシュ（TOEFL/IELTS） b	1
TOEIC準備コース（上級） a	1
TOEIC準備コース（上級） b	1

中期海外研修Ⅰ 10
中期海外研修Ⅱ 10
春期・夏期語学研修 2
中期英語留学Ⅰ(EL) 7
中期英語留学Ⅰ(IL) 8
中期英語留学Ⅰ(HL) 10
中期英語留学Ⅰ(ML) 11
中期英語留学Ⅱ(EL) 7
中期英語留学Ⅱ(IL) 12
中期英語留学Ⅱ(HL) 12

外国語（その他）

ドイツ語（Ⅰ）文法 a 1
ドイツ語（Ⅰ）文法 b 1
ドイツ語（Ⅰ）初級応用 a 1
ドイツ語（Ⅰ）初級応用 b 1
ドイツ語（Ⅰ）LL a 1
ドイツ語（Ⅰ）LL b 1
フランス語（Ⅰ）文法 a 1
フランス語（Ⅰ）文法 b 1
フランス語（Ⅰ）初級応用 a 1
フランス語（Ⅰ）初級応用 b 1
フランス語（Ⅰ）LL a 1
フランス語（Ⅰ）LL b 1
イタリア語（Ⅰ）文法 a 1
イタリア語（Ⅰ）文法 b 1
イタリア語（Ⅰ）初級応用 a 1
イタリア語（Ⅰ）初級応用 b 1
イタリア語（Ⅰ）LL a 1
イタリア語（Ⅰ）LL b 1
中国語（Ⅰ）文法 a 1
中国語（Ⅰ）文法 b 1

中国語（Ⅰ）会話 a 1
中国語（Ⅰ）会話 b 1
ギリシャ語（Ⅰ）a 1
ギリシャ語（Ⅰ）b 1
ラテン語（Ⅰ）a 1
ラテン語（Ⅰ）b 1
朝鮮語（Ⅰ）文法 a 1
朝鮮語（Ⅰ）文法 b 1
朝鮮語（Ⅰ）会話 a 1
朝鮮語（Ⅰ）会話 b 1
ドイツ語（Ⅱ）（文学・言語）a 1
ドイツ語（Ⅱ）（文学・言語）b 1
ドイツ語（Ⅱ）（芸術）a 1
ドイツ語（Ⅱ）（芸術）b 1
ドイツ語（Ⅱ）（社会）a 1
ドイツ語（Ⅱ）（社会）b 1
ドイツ語（Ⅱ）文法・作文 a 1
ドイツ語（Ⅱ）文法・作文 b 1
オーラル・コミュニケーション（独）a 1
オーラル・コミュニケーション（独）b 1
フランス語（Ⅱ）（文学・言語）a 1
フランス語（Ⅱ）（文学・言語）b 1
フランス語（Ⅱ）（芸術）a 1
フランス語（Ⅱ）（芸術）b 1
フランス語（Ⅱ）（社会）a 1
フランス語（Ⅱ）（社会）b 1
フランス語（Ⅱ）文法・作文 a 1
フランス語（Ⅱ）文法・作文 b 1
フランス語（Ⅱ）LL a 1
フランス語（Ⅱ）LL b 1
オーラル・コミュニケーション（仏）a 1

オーラル・コミュニケーション (仏) b 1
オーラル・コミュニケーション (伊) a 1
オーラル・コミュニケーション (伊) b 1
イタリア語 (Ⅱ) (文学) a 1
イタリア語 (Ⅱ) (文学) b 1
イタリア語 (Ⅱ) (社会) a 1
イタリア語 (Ⅱ) (社会) b 1
イタリア語 (Ⅱ) (音楽) a 1
イタリア語 (Ⅱ) (音楽) b 1
イタリア語 (Ⅱ) LL a 1
イタリア語 (Ⅱ) LL b 1
中国語 (Ⅱ) 会話 a 1
中国語 (Ⅱ) 会話 b 1
中国語 (Ⅱ) 閲読 a 1
中国語 (Ⅱ) 閲読 b 1
中国語 (Ⅱ) LL a 1
中国語 (Ⅱ) LL b 1
ギリシャ語 (Ⅱ) a 1
ギリシャ語 (Ⅱ) b 1
ラテン語 (Ⅱ) a 1
ラテン語 (Ⅱ) b 1
朝鮮語 (Ⅱ) 文法 a 1
朝鮮語 (Ⅱ) 文法 b 1
朝鮮語 (Ⅱ) 会話 a 1
朝鮮語 (Ⅱ) 会話 b 1
スペイン語 a 1
スペイン語 b 1
外国語 (外国人留学生のための日本語)
日本語 (Ⅰ) 読本 a 1
日本語 (Ⅰ) 読本 b 1
日本語 (Ⅰ) 文法・作文 a 1

- 日本語（Ⅰ）文法・作文 b 1
- 日本語（Ⅰ）入門 b 1
- 日本語（Ⅰ）漢字・語彙 a 1
- 日本語（Ⅰ）漢字・語彙 b 1
- 日本語（Ⅱ）文法・作文 a 1
- 日本語（Ⅱ）文法・作文 b 1
- 日本語（Ⅱ）読本 a 1
- 日本語（Ⅱ）読本 b 1
- 日本語（Ⅲ）文法・作文 a 1
- 日本語（Ⅲ）文法・作文 b 1
- 日本語（Ⅳ）文法・作文 a 1
- 日本語（Ⅳ）文法・作文 b 1

体育学

- 健康スポーツ科学 a 1
- 健康スポーツ科学 b 1
- 生涯スポーツコース（実技） 1
- 生涯スポーツコース（講義） 2

キリスト教学

- キリスト教概説 a 2
- キリスト教概説 b 2
- キリスト教学（旧約学） 2
- キリスト教学（新約学） 2
- キリスト教学（キリスト教史） 2
- キリスト教学（キリスト教思想） 2

IT

- IT基礎演習 2
- IT応用演習 2
- データサイエンス入門 2
- クローバーゼミ（領域横断ゼミ）
- クローバーゼミ 4

選択科目

春期・夏期語学研修（選択） a 2

春期・夏期語学研修（選択） b 2

2. オープン

全学オープン科目

初期神戸女学院 2

女性学（Ⅰ） a 2

女性学（Ⅰ） b 2

女性学（Ⅱ） a 2

女性学（Ⅱ） b 2

ジェンダー学 a 2

ジェンダー学 b 2

ジェンダー学特論 2

人権論 a 2

人権論 b 2

知への好奇心Ⅰ 2

知への好奇心Ⅱ 2

日本語表現法 2

音楽を考える a 2

音楽を考える b 2

音響学入門 2

カウンセリング心理学入門 2

自然観察入門 2

プロジェクト：神戸女学院を創る 2

女性とキャリア 2

キャリアのためのビジネス研究 2

キャリアのためのコミュニケーション論 2

キャリアデザインのための基礎力開発 2

ビジネスコミュニケーション論 2

（キャリアデザインプログラム科目）

メディアと知 2

マネジメント概論 2

ボディサイエンス 2
アートマネジメント〔講義〕 2
インターンシップⅠ：A 1
インターンシップⅠ：B 1
インターンシップⅡ：A 2
インターンシップⅡ：B 2
西宮市大学交流センター科目 2
西宮市大学交流センター科目 S 1
英語で学ぶ日本文化 a 2
英語で学ぶ日本文化 b 2
英語で論じる日本の論点 a 2
英語で論じる日本の論点 b 2
キャリアデザインプログラム科目
全学オープン科目
 ビジネスコミュニケーション論 2
 (キャリアデザインプログラム科目)
 メディアと知 2
 マネジメント概論 2
 ボディサイエンス 2
 アートマネジメント〔講義〕 2
メディア・コミュニケーションコース
 プレゼンテーションの技法 2
 プロフェッショナル・ライティング 2
 メディアコミュニケーション演習 2
アート・マネジメントコース
 アート・クリティック 2
 アート・パフォーマンス 2
 アート・マネジメント演習 2
ホスピタリティ・マネジメントコース
 ホスピタリティ産業論 2
 対人コミュニケーション論 2

ホスピタリティマネジメント演習 2

3. 文学部メジャー科目

単位数

英文学科

英語Ⅰ a 2

英語Ⅰ b 2

英語Ⅱ a 2

英語Ⅱ b 2

イングリッシュ・プロフィシエンシー 2

言語学入門Ⅰ 2

言語学入門Ⅱ 2

英文学入門Ⅰ 2

英文学入門Ⅱ 2

グローバル・スタディーズ入門Ⅰ 2

グローバル・スタディーズ入門Ⅱ 2

英語Ⅲ a 2

英語Ⅲ b 2

卒業論文セミナーⅠ a 2

卒業論文セミナーⅠ b 2

卒業論文セミナーⅡ a 2

卒業論文セミナーⅡ b 2

意味論Ⅰ a 2

意味論Ⅰ b 2

音韻論Ⅰ a 2

音韻論Ⅰ b 2

統語論Ⅰ a 2

統語論Ⅰ b 2

形態論 a 2

形態論 b 2

社会言語学の理論と実践Ⅰ a 2

社会言語学の理論と実践Ⅰ b 2

シェイクスピアとその時代 a 2
シェイクスピアとその時代 b 2
ヴィクトリア朝文学・文化 a 2
ヴィクトリア朝文学・文化 b 2
近代文学・文化 a 2
近代文学・文化 b 2
ロマン主義文学・文化 a 2
ロマン主義文学・文化 b 2
現代文学・文化 a 2
現代文学・文化 b 2
グローバル社会の諸問題 a 2
グローバル社会の諸問題 b 2
グローバル社会とメディアコミュニケーション a 2
グローバル社会とメディアコミュニケーション b 2
国際関係の諸問題 a 2
国際関係の諸問題 b 2
グローバル・ビジネスの諸問題 a 2
グローバル・ビジネスの諸問題 b 2
現代国際社会の諸問題 a 2
現代国際社会の諸問題 b 2
文学への招待 a 2
文学への招待 b 2
言語と人間 2
言語と社会 2
国際研究ワークショップ 2
映像制作 2
リーダーシップとキャリアデザイン 2
上級英作文 2
音声学 a 2
音声学 b 2
通訳理論と技術（I） a 2

通訳理論と技術（Ⅰ） b 2
翻訳理論と技術（Ⅰ） a 2
翻訳理論と技術（Ⅰ） b 2
グローバル・スタディーズ特講Aa 2
グローバル・スタディーズ特講Ab 2
グローバル・スタディーズ特講Ba 2
グローバル・スタディーズ特講Bb 2
海外実地研修A 2
海外実地研修B 2
文学と映画 a 2
文学と映画 b 2
アメリカ文化論 a 2
アメリカ文化論 b 2
イギリス文化論 a 2
イギリス文化論 b 2
イギリスの文学と歴史 a 2
イギリスの文学と歴史 b 2
アメリカの文学と歴史 a 2
アメリカの文学と歴史 b 2
意味論Ⅱ a 2
意味論Ⅱ b 2
音韻論Ⅱ a 2
音韻論Ⅱ b 2
統語論Ⅱ a 2
統語論Ⅱ b 2
心理言語学 a 2
心理言語学 b 2
社会言語学の理論と実践Ⅱ a 2
社会言語学の理論と実践Ⅱ b 2
通訳理論と技術（Ⅱ） a 2
通訳理論と技術（Ⅱ） b 2

翻訳理論と技術（Ⅱ） a 2
翻訳理論と技術（Ⅱ） b 2
ビジネス通訳 a 2
ビジネス通訳 b 2
演劇学 a 2
演劇学 b 2
詩論 a 2
詩論 b 2
小説論 a 2
小説論 b 2
英語文学特論 a 2
英語文学特論 b 2
比較文学 a 2
比較文学 b 2
グローバル社会の諸問題特論 a 2
グローバル社会の諸問題特論 b 2
グローバル・メディアコミュニケーション特論 a 2
グローバル・メディアコミュニケーション特論 b 2
国際関係特論 a 2
国際関係特論 b 2
グローバル・ビジネス特論 a 2
グローバル・ビジネス特論 b 2
翻訳ワークショップ 2
通訳理論と技術（Ⅲ） a 2
通訳理論と技術（Ⅲ） b 2
翻訳理論と技術（Ⅲ） a 2
翻訳理論と技術（Ⅲ） b 2
英語科教育法Ⅰ 2
英語科教育法Ⅱ 2
英語科教育法Ⅲ 2
英語科教育法Ⅳ 2

総合文化学科

〔各専攻科目群共通専門科目〕

基礎ゼミ	2
文献ゼミ a	2
文献ゼミ b	2
専攻ゼミ (I) a	2
専攻ゼミ (I) b	2
専攻ゼミ (II) a	2
専攻ゼミ (II) b	2
卒業論文	4

〔プロジェクト科目〕

プロジェクトA (I)	2
プロジェクトA (II)	2
プロジェクトA (IV)	2
プロジェクトA (V)	2
プロジェクトA (VI)	2
プロジェクトB (I)	1
プロジェクトC (I)	3

〔通訳・翻訳プログラム科目〕

翻訳理論と技術 (I) a	2
翻訳理論と技術 (I) b	2
翻訳理論と技術 (II) a	2
翻訳理論と技術 (II) b	2
翻訳理論と技術 (III) a	2
翻訳理論と技術 (III) b	2

〔「宗教学」専攻科目群〕

宗教学入門 a	2
宗教学入門 b	2
現代社会と宗教 a	2
現代社会と宗教 b	2
西洋美術史 a	2

西洋美術史 b 2
倫理学 (I) 2
倫理学 (II) 2
聖書学 (I) a 2
聖書学 (I) b 2
旧約聖書原典講読 2
新約聖書原典講読 2
宗教学 a 2
宗教学 b 2
現代キリスト教思想 a 2
現代キリスト教思想 b 2
キリスト教思想史 a 2
キリスト教思想史 b 2
教会音楽 2
聖書学 (II) a 2
聖書学 (II) b 2
宗教的人間論 a 2
宗教的人間論 b 2
ヨーロッパ・キリスト教史 a 2
ヨーロッパ・キリスト教史 b 2
宗教史特講 a 2
宗教史特講 b 2
特別講義—Special Lecture— a 2
特別講義—Special Lecture— b 2
外国語セミナー (英語 I) a 2
外国語セミナー (英語 I) b 2
外国語セミナー (英語 II) a 2
外国語セミナー (英語 II) b 2
外国語セミナー (フランス語) a 2
外国語セミナー (フランス語) b 2
外国語セミナー (ドイツ語) a 2

外国語セミナー（ドイツ語）b 2
外国語セミナー（中国語）a 2
外国語セミナー（中国語）b 2
外国語セミナー（イタリア語）a 2
外国語セミナー（イタリア語）b 2
外国語セミナー（朝鮮語）a 2
外国語セミナー（朝鮮語）b 2
〔「欧米の文化と歴史」専攻科目群〕
ヨーロッパ文化・文学入門 a 2
ヨーロッパ文化・文学入門 b 2
英米文化・文学入門 a 2
英米文化・文学入門 b 2
西洋史入門 a 2
西洋史入門 b 2
美術史入門（西洋・東洋・日本）a 2
美術史入門（西洋・東洋・日本）b 2
ヨーロッパの文化・文学 a 2
ヨーロッパの文化・文学 b 2
イギリスの文化・文学（Ⅰ） 2
イギリスの文化・文学（Ⅱ） 2
アメリカの文化・文学（Ⅰ） 2
アメリカの文化・文学（Ⅱ） 2
イタリアの文化・文学（Ⅰ） 2
イタリアの文化・文学（Ⅱ） 2
ドイツの文化・文学（Ⅰ） 2
ドイツの文化・文学（Ⅱ） 2
フランスの文化・文学（Ⅰ） 2
フランスの文化・文学（Ⅱ） 2
欧米文化特殊研究（Ⅰ）a 2
欧米文化特殊研究（Ⅰ）b 2
欧米文化特殊研究（Ⅱ）a 2

欧米文化特殊研究 (Ⅱ) b 2
表象文化論 a 2
表象文化論 b 2
歴史学入門 a 2
ヨーロッパ社会史 (Ⅰ) a 2
ヨーロッパ社会史 (Ⅰ) b 2
西洋美術史 a 2
西洋美術史 b 2
イギリスの文化・文学 (Ⅲ) 2
イギリスの文化・文学 (Ⅳ) 2
アメリカの文化・文学 (Ⅲ) 2
アメリカの文化・文学 (Ⅳ) 2
イタリアの文化・文学 (Ⅲ) 2
イタリアの文化・文学 (Ⅳ) 2
ドイツの文化・文学 (Ⅲ) 2
ドイツの文化・文学 (Ⅳ) 2
フランスの文化・文学 (Ⅲ) 2
フランスの文化・文学 (Ⅳ) 2
ラテンアメリカ文化論 2
アフリカ文化論 2
ヨーロッパ文化史a 2
ヨーロッパ文化史b 2
ヨーロッパ社会史 (Ⅱ) a 2
ヨーロッパ社会史 (Ⅱ) b 2
アメリカ史 a 2
アメリカ史 b 2
特別講義—Special Lecture— a 2
特別講義—Special Lecture— b 2
外国語セミナー (英語Ⅰ) a 2
外国語セミナー (英語Ⅰ) b 2
外国語セミナー (英語Ⅱ) a 2

外国語セミナー（英語Ⅱ） b 2
外国語セミナー（フランス語） a 2
外国語セミナー（フランス語） b 2
外国語セミナー（ドイツ語） a 2
外国語セミナー（ドイツ語） b 2
外国語セミナー（イタリア語） a 2
外国語セミナー（イタリア語） b 2
〔「哲学・倫理学・美学」専攻科目群〕
哲学入門 a 2
哲学入門 b 2
論理学入門 a 2
論理学入門 b 2
生命と環境の倫理 2
西洋美術史 a 2
西洋美術史 b 2
哲学（Ⅰ） a 2
哲学（Ⅰ） b 2
哲学（Ⅱ） a 2
哲学（Ⅱ） b 2
倫理学（Ⅰ） 2
倫理学（Ⅱ） 2
美学（Ⅰ） 2
美学（Ⅱ） 2
旧約聖書原典講読 2
新約聖書原典講読 2
キリスト教思想史 a 2
キリスト教思想史 b 2
現代思想 2
倫理学（Ⅲ） 2
倫理学（Ⅳ） 2
芸術学 a 2

芸術学 b 2
 美学 (Ⅲ) 2
 美学 (Ⅳ) 2
 ヨーロッパ・キリスト教史 a 2
 ヨーロッパ・キリスト教史 b 2
 特別講義—Special Lecture— a 2
 特別講義—Special Lecture— b 2
 外国語セミナー (英語Ⅰ) a 2
 外国語セミナー (英語Ⅰ) b 2
 外国語セミナー (英語Ⅱ) a 2
 外国語セミナー (英語Ⅱ) b 2
 外国語セミナー (フランス語) a 2
 外国語セミナー (フランス語) b 2
 外国語セミナー (ドイツ語) a 2
 外国語セミナー (ドイツ語) b 2
 外国語セミナー (イタリア語) a 2
 外国語セミナー (イタリア語) b 2
 [「社会福祉・子ども」専攻科目群]
 教育学入門 2
 ソーシャルワークの基盤と専門職 2
 ボランティア論 (Ⅰ) 2
 ボランティア論 (Ⅱ) 2
 人間福祉学入門 2
 社会福祉の原理と政策 4
 人間形成論 2
 人間と教育 2
 倫理学 (Ⅰ) 2
 人体の構造と機能及び疾病 2
 社会学と社会システム 2
 障害者福祉 2
 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ 2

ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 2
児童福祉学 2
社会保障 4
老人福祉論 2
地域福祉と包括的支援体制 4
教育社会学 a 2
教育社会学 b 2
現代教育思想 a 2
現代教育思想 b 2
子どもの人間学 2
子どもの社会学 2
子どもの教育学 2
現代文化と心理学 4
刑事司法と福祉 2
社会福祉調査の基礎 2
権利擁護を支える法制度 2
特別講義—Special Lecture— a 2
特別講義—Special Lecture— b 2
外国語セミナー（英語Ⅰ） a 2
外国語セミナー（英語Ⅰ） b 2
外国語セミナー（英語Ⅱ） a 2
外国語セミナー（英語Ⅱ） b 2
外国語セミナー（フランス語） a 2
外国語セミナー（フランス語） b 2
外国語セミナー（ドイツ語） a 2
外国語セミナー（ドイツ語） b 2
外国語セミナー（中国語） a 2
外国語セミナー（中国語） b 2
外国語セミナー（イタリア語） a 2
外国語セミナー（イタリア語） b 2
外国語セミナー（朝鮮語） a 2

外国語セミナー（朝鮮語） b 2
〔「社会学・メディア」専攻科目群〕
社会学への招待 a 2
社会学への招待 b 2
社会調査入門 2
ボランティア論（Ⅰ） 2
ボランティア論（Ⅱ） 2
国際コミュニケーション論 2
社会理論 a 2
社会理論 b 2
家族社会学 a 2
家族社会学 b 2
NGO・NPO論 2
メディア論 2
社会意識論 2
デジタルメディア制作基礎 2
質的調査法 2
社会統計学(A) 2
社会統計学(B) 2
社会調査計画法 2
子どもの社会学 2
社会学概論 a 2
社会学概論 b 2
ジャーナリズム論 a 2
ジャーナリズム論 b 2
地域社会学 a 2
地域社会学 b 2
メディアワークショップ 2
法社会学 a 2
法社会学 b 2
文化人類学 a 2

文化人類学 b 2
 社会病理学 a 2
 社会病理学 b 2
 社会調査基礎演習 4
 社会調査実習 4
 特別講義—Special Lecture— a 2
 特別講義—Special Lecture— b 2
 外国語セミナー（英語Ⅰ） a 2
 外国語セミナー（英語Ⅰ） b 2
 外国語セミナー（英語Ⅱ） a 2
 外国語セミナー（英語Ⅱ） b 2
 外国語セミナー（フランス語） a 2
 外国語セミナー（フランス語） b 2
 外国語セミナー（ドイツ語） a 2
 外国語セミナー（ドイツ語） b 2
 外国語セミナー（中国語） a 2
 外国語セミナー（中国語） b 2
 外国語セミナー（イタリア語） a 2
 外国語セミナー（イタリア語） b 2
 外国語セミナー（朝鮮語） a 2
 外国語セミナー（朝鮮語） b 2
 〔「日本語・日本文学」専攻科目群〕
 日本文化・文学入門（Ⅰ） 2
 日本文化・文学入門（Ⅱ） 2
 日本語学入門（Ⅰ） 2
 日本語学入門（Ⅱ） 2
 日本語学総論（Ⅰ） 2
 日本語学総論（Ⅱ） 2
 日本語学特論 2
 日本文学概論（Ⅰ） 2
 日本文学概論（Ⅱ） 2

日本近現代文学研究（Ⅰ）	2
日本近現代文学研究（Ⅱ）	2
日本古典文学研究（Ⅰ）	2
日本古典文学研究（Ⅱ）	2
社会言語学（Ⅰ）	2
社会言語学（Ⅱ）	2
日本古典文学講読（Ⅰ）	2
日本古典文学講読（Ⅱ）	2
日本近現代文学講読（Ⅰ）	2
日本近現代文学講読（Ⅱ）	2
日本文学史（Ⅰ）	2
日本文学史（Ⅱ）	2
日本語学研究（Ⅰ）	2
日本語学研究（Ⅱ）	2
日本語学研究（Ⅲ）	2
日本語学研究（Ⅳ）	2
日本文化・文学研究（Ⅰ）	2
日本文化・文学研究（Ⅱ）	2
日本文化・文学研究（Ⅲ）	2
日本文化・文学研究（Ⅳ）	2
書道・書道史	2
日本語学研究（Ⅴ）	2
特別講義—Special Lecture— a	2
特別講義—Special Lecture— b	2
外国語セミナー（英語Ⅰ） a	2
外国語セミナー（英語Ⅰ） b	2
外国語セミナー（英語Ⅱ） a	2
外国語セミナー（英語Ⅱ） b	2
外国語セミナー（フランス語） a	2
外国語セミナー（フランス語） b	2
外国語セミナー（ドイツ語） a	2

外国語セミナー（ドイツ語）b 2
外国語セミナー（中国語）a 2
外国語セミナー（中国語）b 2
外国語セミナー（イタリア語）a 2
外国語セミナー（イタリア語）b 2
外国語セミナー（朝鮮語）a 2
外国語セミナー（朝鮮語）b 2
〔「日本・アジアの文化と歴史」専攻科目群〕
アジアの中の日本史 a 2
アジアの中の日本史 b 2
アジア史入門a 2
アジア史入門b 2
地理と生活a 2
地理と生活b 2
アジア文化・文学セミナー（漢文学） 2
アジア文化・文学入門（Ⅰ） 2
アジア文化・文学入門（Ⅱ） 2
地理学 a 2
地理学 b 2
地誌学 2
日本史（Ⅱ）a 2
日本史（Ⅱ）b 2
歴史学入門 a 2
歴史学入門 b 2
日本史（Ⅰ）a 2
日本史（Ⅰ）b 2
日本文化史 a 2
日本文化史 b 2
日本芸能史（Ⅰ） 2
日本芸能史（Ⅱ） 2
アジア文化・文学論 2

現代アジア地域研究（Ⅰ）（中国） 2
現代アジア地域研究（Ⅱ）（韓国・朝鮮） 2
現代アジア地域研究（Ⅲ）（東南アジア） 2
現代アジア地域研究（Ⅳ）（南アジア） 2
日本地理学 2
外国地理学 2
近代日本思想史 a 2
近代日本思想史 b 2
史料で探る日本の歴史 a 2
史料で探る日本の歴史 b 2
アジア史研究 2
日本アジア関係史 2
日本美術史 a 2
日本美術史 b 2
日本文化とアジア 2
現代日本論 a 2
現代日本論 b 2
社会思想史 a 2
社会思想史 b 2
特別講義—Special Lecture— a 2
特別講義—Special Lecture— b 2
外国語セミナー（中国語） a 2
外国語セミナー（中国語） b 2
外国語セミナー（朝鮮語） a 2
外国語セミナー（朝鮮語） b 2
〔「経済学・法学・国際関係論」専攻科目群〕
現代社会と経済学 a 2
現代社会と経済学 b 2
市民のための現代社会・政治 a 2
市民のための現代社会・政治 b 2
日本国憲法 2

概説国際関係論 2
国際関係論 a 2
国際関係論 b 2
家族と法 a 2
家族と法 b 2
経済学 a 2
経済学 b 2
経済学（国際経済を含む） a 2
経済学（国際経済を含む） b 2
現代社会と法 a 2
現代社会と法 b 2
行政法 a 2
行政法 b 2
女性と司法 2
比較経済論 a 2
比較経済論 b 2
世界経済論 a 2
世界経済論 b 2
法律学 a 2
法律学 b 2
法律学（国際法を含む） 4
法社会学 a 2
法社会学 b 2
政治学（国際法を含む） 2
国際法 a 2
国際法 b 2
特別講義—Special Lecture— a 2
特別講義—Special Lecture— b 2
外国語セミナー（英語Ⅰ） a 2
外国語セミナー（英語Ⅰ） b 2
外国語セミナー（英語Ⅱ） a 2

外国語セミナー（英語Ⅱ）b 2

〔精神保健福祉士指定科目〕

（精神保健福祉士養成課程履修者・履修予定者対象。「社会福祉・子ども」専攻科目群の単位には含まない。）

精神保健福祉の原理 4

ソーシャルワーク演習 2

ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ 2

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 2

ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ 2

ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ 2

社会福祉援助技術現場実習指導 2

ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ 2

ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ 2

ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 4

ソーシャルワーク実習 6

〔教職課程指定科目〕

（教職課程履修者対象。各専攻科目群の単位には含まない。）

社会科教育法Ⅰ 2

社会科教育法Ⅱ 2

社会科・地理歴史科教育法 2

社会科・公民科教育法 2

地理歴史科教育法 2

公民科教育法 2

国語科教育法Ⅰ 2

国語科教育法Ⅱ 2

国語科教育法Ⅲ 2

国語科教育法Ⅳ 2

4. 音楽学部メジャー科目

単位数

音楽学科

器楽専攻

器楽（主専攻）	（Ⅰ）	6
器楽（主専攻）	（Ⅱ）	6
器楽（主専攻）	（Ⅲ）	6
器楽（主専攻）	（Ⅳ）	6
リサイタル	（Ⅰ）	1
リサイタル	（Ⅱ）	1
リサイタル	（Ⅲ）	1
ソロリサイタル		3
卒業演奏及び卒業作品		2
ピアノ（副専攻）	（Ⅰ）	2
ピアノ（副専攻）	（Ⅱ）	2
ピアノ（副専攻）	（Ⅲ）	2
ピアノ（副専攻）	（Ⅳ）	2
声楽（副専攻）	（Ⅰ）	2
声楽（副専攻）	（Ⅱ）	2
声楽（副専攻）	（Ⅲ）	2
声楽（副専攻）	（Ⅳ）	2
器楽（副専攻）	（Ⅰ）	2
器楽（副専攻）	（Ⅱ）	2
器楽（副専攻）	（Ⅲ）	2
器楽（副専攻）	（Ⅳ）	2
作曲（副専攻）	（Ⅰ）	2
作曲（副専攻）	（Ⅱ）	2
ピアノ（第二主専攻）	（Ⅰ）	4
ピアノ（第二主専攻）	（Ⅱ）	4
声楽（第二主専攻）	（Ⅰ）	4
声楽（第二主専攻）	（Ⅱ）	4
器楽（第二主専攻）	（Ⅰ）	4
器楽（第二主専攻）	（Ⅱ）	4
作曲（第二主専攻）	（Ⅰ）	4
作曲（第二主専攻）	（Ⅱ）	4

合唱（Ⅰ）（日本の伝統的な歌唱を含む） a 1
合唱（Ⅰ）（日本の伝統的な歌唱を含む） b 1
合唱（Ⅱ）（日本の伝統的な歌唱を含む） a 1
合唱（Ⅱ）（日本の伝統的な歌唱を含む） b 1
合唱（Ⅲ） a 1
合唱（Ⅲ） b 1
合唱（Ⅳ） a 1
合唱（Ⅳ） b 1
合唱 1
合唱特別実習（Ⅰ） 1
合唱特別実習（Ⅱ） 1
オーケストラ（Ⅰ） a 1
オーケストラ（Ⅰ） b 1
オーケストラ（Ⅱ） a 1
オーケストラ（Ⅱ） b 1
オーケストラ（Ⅲ） a 1
オーケストラ（Ⅲ） b 1
オーケストラ（Ⅳ） a 1
オーケストラ（Ⅳ） b 1
弦楽合奏（Ⅰ） a 1
弦楽合奏（Ⅰ） b 1
弦楽合奏（Ⅱ） a 1
弦楽合奏（Ⅱ） b 1
弦楽合奏（Ⅲ） a 1
弦楽合奏（Ⅲ） b 1
弦楽合奏（Ⅳ） a 1
弦楽合奏（Ⅳ） b 1
管打合奏（Ⅰ） a 1
管打合奏（Ⅰ） b 1
管打合奏（Ⅱ） a 1
管打合奏（Ⅱ） b 1

管打合奏 (Ⅲ) a	1
管打合奏 (Ⅲ) b	1
管打合奏 (Ⅳ) a	1
管打合奏 (Ⅳ) b	1
ウインド・オーケストラ (Ⅰ) a	1
ウインド・オーケストラ (Ⅰ) b	1
ウインド・オーケストラ (Ⅱ) a	1
ウインド・オーケストラ (Ⅱ) b	1
ウインド・オーケストラ (Ⅲ) a	1
ウインド・オーケストラ (Ⅲ) b	1
ウインド・オーケストラ (Ⅳ) a	1
ウインド・オーケストラ (Ⅳ) b	1
室内楽 (Ⅰ) a	1
室内楽 (Ⅰ) b	1
室内楽 (Ⅱ) a	1
室内楽 (Ⅱ) b	1
器楽史 (弦管打)	2
鍵盤音楽史Ⅰ	2
鍵盤音楽史Ⅱ	2
歌劇史	2
教会音楽	2
舞曲史	2
舞踊史	2
音楽美学	2
日本伝統音楽	2
民族音楽	2
声乐専攻	
声乐 (主専攻) (Ⅰ)	6
声乐 (主専攻) (Ⅱ)	6
声乐 (主専攻) (Ⅲ)	6
声乐 (主専攻) (Ⅳ)	6

リサイタル (Ⅰ)	1
リサイタル (Ⅱ)	1
リサイタル (Ⅲ)	1
ソロリサイタル	3
卒業演奏及び卒業作品	2
ピアノ (副専攻) (Ⅰ)	2
ピアノ (副専攻) (Ⅱ)	2
ピアノ (副専攻) (Ⅲ)	2
ピアノ (副専攻) (Ⅳ)	2
器楽 (副専攻) (Ⅰ)	2
器楽 (副専攻) (Ⅱ)	2
器楽 (副専攻) (Ⅲ)	2
器楽 (副専攻) (Ⅳ)	2
作曲 (副専攻) (Ⅰ)	2
作曲 (副専攻) (Ⅱ)	2
ピアノ (第二主専攻) (Ⅰ)	4
ピアノ (第二主専攻) (Ⅱ)	4
器楽 (第二主専攻) (Ⅰ)	4
器楽 (第二主専攻) (Ⅱ)	4
作曲 (第二主専攻) (Ⅰ)	4
作曲 (第二主専攻) (Ⅱ)	4
合唱 (Ⅰ) (日本の伝統的な歌唱を含む) a	1
合唱 (Ⅰ) (日本の伝統的な歌唱を含む) b	1
合唱 (Ⅱ) (日本の伝統的な歌唱を含む) a	1
合唱 (Ⅱ) (日本の伝統的な歌唱を含む) b	1
合唱 (Ⅲ) a	1
合唱 (Ⅲ) b	1
合唱 (Ⅳ) a	1
合唱 (Ⅳ) b	1
合唱	1
合唱特別実習 (Ⅰ)	1

合唱特別実習（Ⅱ）	1
ウインド・オーケストラ（Ⅰ） a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅰ） b	1
ウインド・オーケストラ（Ⅱ） a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅱ） b	1
ウインド・オーケストラ（Ⅲ） a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅲ） b	1
ウインド・オーケストラ（Ⅳ） a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅳ） b	1
オペラ基礎演習 a	1
オペラ基礎演習 b	1
オペラ実習	3
器楽史（弦管打）	2
鍵盤音楽史Ⅰ	2
鍵盤音楽史Ⅱ	2
歌劇史	2
教会音楽	2
舞曲史	2
舞踊史	2
音楽美学	2
日本伝統音楽	2
民族音楽	2
ミュージック・クリエイション専攻	
創作Major（Ⅰ）	6
創作Major（Ⅱ）	6
創作Major（Ⅲ）	6
創作Major（Ⅳ）	6
領域研究A	4
領域研究B	4
領域研究C	4
ミュージック・クリエイション演習A	2

ミュージック・クリエーション演習B 2

リサイタル (I)	1
リサイタル (II)	1
リサイタル (III)	1
ソロリサイタル	3
卒業演奏及び卒業作品	2
ピアノ (副専攻) (I)	2
ピアノ (副専攻) (II)	2
ピアノ (副専攻) (III)	2
ピアノ (副専攻) (IV)	2
器楽 (副専攻) (I)	2
器楽 (副専攻) (II)	2
器楽 (副専攻) (III)	2
器楽 (副専攻) (IV)	2
声楽 (副専攻) (I)	2
声楽 (副専攻) (II)	2
声楽 (副専攻) (III)	2
声楽 (副専攻) (IV)	2
ピアノ (第二主専攻) (I)	4
ピアノ (第二主専攻) (II)	4
声楽 (第二主専攻) (I)	4
声楽 (第二主専攻) (II)	4
器楽 (第二主専攻) (I)	4
器楽 (第二主専攻) (II)	4
合唱 (I) (日本の伝統的な歌唱を含む) a	1
合唱 (I) (日本の伝統的な歌唱を含む) b	1
合唱 (II) (日本の伝統的な歌唱を含む) a	1
合唱 (II) (日本の伝統的な歌唱を含む) b	1
合唱 (III) a	1
合唱 (III) b	1
合唱 (IV) a	1

合唱 (IV) b	1
合唱	1
合唱特別実習 (I)	1
合唱特別実習 (II)	1
ウインド・オーケストラ (I) a	1
ウインド・オーケストラ (I) b	1
ウインド・オーケストラ (II) a	1
ウインド・オーケストラ (II) b	1
ウインド・オーケストラ (III) a	1
ウインド・オーケストラ (III) b	1
ウインド・オーケストラ (IV) a	1
ウインド・オーケストラ (IV) b	1
器楽史 (弦管打)	2
鍵盤音楽史 I	2
鍵盤音楽史 II	2
歌劇史	2
教会音楽	2
舞曲史	2
舞踊史	2
音楽美学	2
日本伝統音楽	2
民族音楽	2
舞踊専攻	
舞踊研究	1
バレエエクステンション (I)	6
バレエエクステンション (II)	6
バレエエクステンション (III)	6
バレエエクステンション (IV)	6
テクニック・モダン・コンテンポラリー (I)	6
テクニック・モダン・コンテンポラリー (II)	6
テクニック・モダン・コンテンポラリー (III)	6

テクニク・モダン・コンテンポラリー (IV) 6

アナライズクラス (I) 2

アナライズクラス (II) 2

アナライズクラス (III) 2

アナライズクラス (IV) 2

舞踊レパートリークラス (I) 1

舞踊レパートリークラス (II) 1

舞踊レパートリークラス (III) 1

舞踊レパートリークラス (IV) 1

ソロリサイタル (舞踊) 3

卒業公演 2

ピアノ (副専攻) (I) 2

ピアノ (副専攻) (II) 2

ピアノ (副専攻) (III) 2

ピアノ (副専攻) (IV) 2

声楽 (副専攻) (I) 2

声楽 (副専攻) (II) 2

声楽 (副専攻) (III) 2

声楽 (副専攻) (IV) 2

器楽 (副専攻) (I) 2

器楽 (副専攻) (II) 2

器楽 (副専攻) (III) 2

器楽 (副専攻) (IV) 2

作曲 (副専攻) (I) 2

作曲 (副専攻) (II) 2

ピアノ (第二主専攻) (I) 4

ピアノ (第二主専攻) (II) 4

声楽 (第二主専攻) (I) 4

声楽 (第二主専攻) (II) 4

器楽 (第二主専攻) (I) 4

器楽 (第二主専攻) (II) 4

作曲（第二主専攻）（Ⅰ）	4
作曲（第二主専攻）（Ⅱ）	4
合唱（Ⅰ）（日本の伝統的な歌唱を含む）a	1
合唱（Ⅰ）（日本の伝統的な歌唱を含む）b	1
合唱（Ⅱ）（日本の伝統的な歌唱を含む）a	1
合唱（Ⅱ）（日本の伝統的な歌唱を含む）b	1
合唱（Ⅲ）a	1
合唱（Ⅲ）b	1
合唱（Ⅳ）a	1
合唱（Ⅳ）b	1
合唱	1
合唱特別実習（Ⅰ）	1
合唱特別実習（Ⅱ）	1
ウインド・オーケストラ（Ⅰ）a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅰ）b	1
ウインド・オーケストラ（Ⅱ）a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅱ）b	1
ウインド・オーケストラ（Ⅲ）a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅲ）b	1
ウインド・オーケストラ（Ⅳ）a	1
ウインド・オーケストラ（Ⅳ）b	1
Vocal Training a	1
Vocal Training b	1
器楽史（弦管打）	2
鍵盤音楽史Ⅰ	2
鍵盤音楽史Ⅱ	2
歌劇史	2
教会音楽	2
舞曲史	2
舞踊史	2
音楽美学	2

日本伝統音楽 2

民族音楽 2

全専攻共通

音楽療法概論 2

ソルフェージュ (I) a 1

ソルフェージュ (I) b 1

ソルフェージュ (II) a 1

ソルフェージュ (II) b 1

ソルフェージュ (III) 2

和声学 (I) a 2

和声学 (I) b 2

和声学 (II) a 2

和声学 (II) b 2

和声学 (III) 2

楽式論 2

対位法 (I) 2

対位法 (II) 2

楽器論 2

管弦楽法 2

教材作成研究 2

合唱・吹奏楽研究a 2

合唱・吹奏楽研究b 2

ミュージック・コミュニケーション講座 2

音楽基礎セミナー 2

楽曲分析 2

コンピュータ作譜法 (I) 1

コンピュータ音楽 1

音楽史 (I) (諸民族の音楽を含む) a 2

音楽史 (I) (諸民族の音楽を含む) b 2

音楽史 (II) (諸民族の音楽を含む) a 2

音楽史 (II) (諸民族の音楽を含む) b 2

伴奏実習 (I)	1
伴奏実習 (II) a	1
伴奏実習 (II) b	1
伴奏実習 (III) a	1
伴奏実習 (III) b	1
伴奏実習 (IV) a	1
伴奏実習 (IV) b	1
ピアノ重奏 I	2
ピアノ重奏 II	2
ピアノ重奏 III	2
イタリア歌曲唱法	2
日本歌曲唱法	2
声楽アンサンブル	2
宗教曲	2
ドイツ歌曲唱法	2
フランス歌曲唱法	2
音声学	2
オルガン研究a	1
オルガン研究b	1
チェンバロ研究a	1
チェンバロ研究b	1
通奏低音奏法	2
指揮法	2
スコア・リーディング	2
音楽療法基礎演習	2
伴奏法a	1
伴奏法b	1
合奏 (和楽器を含む)	1
舞台概論	2
音楽によるアウトリーチ (講義)	2
音楽によるアウトリーチ (実習)	2

音楽科教育法Ⅰ 2

音楽科教育法Ⅱ 2

音楽科教育法Ⅲ 2

音楽科教育法Ⅳ 2

5. 人間科学部メジャー科目

単位数

心理・行動科学科

心理学入門ゼミ 2

演習ⅠA 2

演習ⅠB 2

演習ⅡA 2

演習ⅡB 2

卒業研究A 4

卒業研究B 4

発達心理学 2

心理学統計法 2

臨床心理学と人間 2

心理学研究法 2

人間科学のための統計学 2

心理学実験 a 2

心理学実験 b 2

臨床心理学概論 2

心理行動科学文献講読 a 2

心理行動科学文献講読 b 2

心理的アセスメント（実習を含む） a 2

心理的アセスメント（実習を含む） b 2

認知科学概論 2

環境科学概論 2

心理学概論 2

数学入門 2

生態毒性学概論 2

生物の適応と進化	2
現代の精神保健の課題と支援	4
ソーシャルワークの基盤と専門職	2
比較行動学（学習・言語心理学）	2
食生活論	2
臨床子ども学	2
障害者・障害児心理学	2
健康心理学	2
社会心理学	2
社会・集団・家族心理学	2
対人関係心理学	2
発達臨床心理学	2
知覚・認知心理学	2
認知心理学	2
感情・人格心理学	2
家族臨床心理学	2
心理行動科学特別講義 I	2
イメージの心理臨床学	2
動物生態学	2
人体の構造と機能 a	2
人体の構造と機能 b	2
人体の構造と機能及び疾病	2
マルチメディア演習	2
プログラミング演習	2
データサイエンス演習	2
心身医学概論	2
環境教育実践論	2
精神分析概論	2
精神分析	2
産業・組織心理学	2
心理学的支援法（実習を含む） a	2

心理学的支援法（実習を含む）	b	2
ジェンダーの心理学（生涯発達）		2
福祉心理学		2
教育・学校心理学		2
健康・医療心理学		2
公認心理師の職責		2
集団力学		2
司法・犯罪心理学		2
文化心理学		2
深層心理学		2
心理学統計法応用		2
感情心理学		2
神経・生理心理学		2
人間工学		2
人工知能論		2
関係行政論		2
心理演習（実習を含む）		2
心理実習		4
健康医学		2
地域活性化論		2
NPOマネジメント論		2
地域活性化実践演習		2
地域活性化総合実習		4
精神疾患とその治療		4
精神保健福祉制度論		2
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2
精神障害リハビリテーション論		2
精神保健福祉の原理		4
ソーシャルワーク演習		2
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ		2

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 2
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ 2
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ 2
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ 2
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ 2
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 4
ソーシャルワーク実習 6
翻訳理論と技術（Ⅰ）a 2
翻訳理論と技術（Ⅰ）b 2
翻訳理論と技術（Ⅱ）a 2
翻訳理論と技術（Ⅱ）b 2
翻訳理論と技術（Ⅲ）a 2
翻訳理論と技術（Ⅲ）b 2

環境・バイオサイエンス学科

入門ゼミ 2
環境科学基礎実習（講義を含む） 2
バイオサイエンス基礎実習（講義を含む） 2
数学入門 2
化学入門 2
生物入門 2
環境科学実習（講義を含む） 2
物理学実習（講義を含む） 2
生命の科学実習（講義を含む） 2
微生物学実習（講義を含む） 2
環境科学概論 2
解析学基礎 2
化学概論 2
生態毒性学概論 2
生物の適応と進化 2
生物学概論 2
地球生物圏の科学 2

生命科学概論 2
生物有機化学 2
情報科学入門 2
環境科学 2
環境社会学 2
環境科学特別講義 2
食生活論 2
栄養生理学 2
物理学概論 2
分子生物学 2
植物生態学 2
動物生態学 2
人体の構造と機能a 2
人体の構造と機能b 2
マルチメディア演習 2
食品環境学 2
消費者問題論 2
地域活性化論 2
NPOマネジメント論 2
地域活性化実践演習 2
翻訳理論と技術（I）a 2
翻訳理論と技術（I）b 2
演習 I a 2
演習 I b 2
演習 II 4
卒業研究 8
食品学基礎実習（講義を含む） 2
生化学実習（講義を含む） 2
地学実習（講義を含む） 2
生態学実習 I（講義を含む） 2
生態学実習 II（講義を含む） 2

環境保護論 2
環境と法律 2
環境教育実践論 2
都市環境論 2
外国書講読 2
食糧経済学 2
食品学 2
環境生態工学 2
生態毒性学 2
生物反応速度論 2
生化学 2
地学概論 2
バイオテクノロジー概論 2
病気の細胞生物学 2
環境政策学 2
健康医学 2
理科教育法Ⅰ 2
理科教育法Ⅱ 2
理科教育法Ⅲ 2
理科教育法Ⅳ 2
地域活性化総合実習 4
パーソナルブランディング実践演習 2
サイエンスライティング演習 2
科学者のための英語実践 2
翻訳理論と技術(Ⅱ) a 2
翻訳理論と技術(Ⅱ) b 2
翻訳理論と技術(Ⅲ) a 2
翻訳理論と技術(Ⅲ) b 2
認知科学概論 2
臨床心理学と人間 2
人間科学のための統計学 2

健康心理学 2
対人関係心理学 2
発達臨床心理学 2
プログラミング演習 2
データサイエンス演習 2
精神分析概論 2
人工知能論 2

別表第2

単位数

英語科教育法Ⅰ 2
英語科教育法Ⅱ 2
英語科教育法Ⅲ 2
英語科教育法Ⅳ 2
社会科教育法Ⅰ 2
社会科教育法Ⅱ 2
社会科・地理歴史科教育法 2
社会科・公民科教育法 2
地理歴史科教育法 2
公民科教育法 2
音楽科教育法Ⅰ 2
音楽科教育法Ⅱ 2
音楽科教育法Ⅲ 2
音楽科教育法Ⅳ 2
理科教育法Ⅰ 2
理科教育法Ⅱ 2
理科教育法Ⅲ 2
理科教育法Ⅳ 2
国語科教育法Ⅰ 2
国語科教育法Ⅱ 2
国語科教育法Ⅲ 2
国語科教育法Ⅳ 2

教師論	2
生徒・進路指導論	2
教育方法論（情報通信技術の活用含む）Ⅰ	1
教育方法論（情報通信技術の活用含む）Ⅱ	1
特別支援教育	2
教育相談	2
教育心理学	2
教育原理Ⅰ	2
教育原理Ⅱ	2
道德教育の指導法	2
カリキュラム論	1
総合的な学習の時間・特別活動の指導法Ⅰ	1
総合的な学習の時間・特別活動の指導法Ⅱ	1
教職実践演習（中・高）	2
教育実習Ⅰ	5
教育実習Ⅱ	3

別表第3

単位数

日本語教授法（Ⅰ）（日本語教育概論）	2
グローバル・スタディーズ特講A a	2
グローバル・スタディーズ特講A b	2
グローバル・スタディーズ特講B a	2
グローバル・スタディーズ特講B b	2
国際関係論 a	2
国際関係論 b	2
現代日本論 a	2
現代日本論 b	2
経済学（国際経済を含む）a	2
経済学（国際経済を含む）b	2
法律学（国際法を含む）	4
政治学（国際政治を含む）	2

日本アジア関係史 2
日本文化とアジア 2
日本史（Ⅰ）a 2
日本史（Ⅰ）b 2
日本文化史 a 2
日本文化史 b 2
日本芸能史（Ⅰ） 2
日本芸能史（Ⅱ） 2
概説国際関係論 2
社会言語学の理論と実践Ⅰ a 2
社会言語学の理論と実践Ⅰ b 2
社会言語学（Ⅰ） 2
社会言語学（Ⅱ） 2
アメリカ文化論a 2
アメリカ文化論b 2
イギリス文化論a 2
イギリス文化論b 2
翻訳理論と技術（Ⅰ）a 2
翻訳理論と技術（Ⅰ）b 2
言語習得論a 2
認知科学概論 2
認知心理学 2
知覚・認知心理学 2
現代文化と心理学 4
文化心理学 2
文化人類学 a 2
文化人類学 b 2
日本語教授法（Ⅱ）（日本語教育内容論） 2
日本語教授法（Ⅲ）（初・中級教授法） 2
日本語教育実習（国内） 3
情報科学入門 2

IT基礎演習	2
IT応用演習	2
意味論I a	2
意味論I b	2
音韻論I a	2
音韻論I b	2
統語論I a	2
統語論I b	2
形態論 a	2
形態論 b	2
統語論II a	2
統語論II b	2
日本語学研究 (I)	2
日本語学研究 (II)	2
日本語学研究 (III)	2
日本語学研究 (IV)	2
日本語学研究 (V)	2
日本語学総論 (I)	2
日本語学総論 (II)	2
日本語学特論	2
日本語表現法	2
日本語学入門 (I)	2
日本語学入門 (II)	2

別表第4

	単位数	時間数
人体の構造と機能及び疾病	2	
心理学概論	2	
社会学と社会システム	2	
社会福祉の原理と政策	4	
地域福祉と包括的支援体制	4	
社会保障	4	

障害者福祉	2	
権利擁護を支える法制度	2	
刑事司法と福祉	2	
社会福祉調査の基礎	2	
精神疾患とその治療	4	
現代の精神保健の課題と支援	4	
ソーシャルワークの基盤と専門職	2	
精神保健福祉の原理	4	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	2	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	2	
精神障害リハビリテーション論	2	
精神保健福祉制度論	2	
ソーシャルワーク演習	2	30時間
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	30時間
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	2	30時間
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	2	30時間
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	30時間
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4	60時間
ソーシャルワーク実習	6	210時間以上